

校訓	真善美	平成29年度学校だより	発行日	平成29年4月12日
教育目標	自主、自立、感謝の精神を抱き、 未来を拓く生徒の育成 —豊かな心、確かな学力、健やかな体を育てる—	<b>「荒中だより」</b> 第2号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 難波 重之

## 第38回入学式が挙行されました

校舎から見える長尾連山の若葉の緑も爽やかさを一段と増すなか、4月11日（月）、第38回入学式が挙行されました。今年度は202名の新生を迎えました。

真新しい制服に身を包んだ新生は、はつらつとした姿で入学式に臨みました。



さて、荒牧中学校の教育の基盤となる校訓は、「真善美」です。

一つ目の「真」とは、本当のことを追い求めていく「向学心」のことです。「向学心」とは、**勉学に励もうとする心や志のこと**をいいます。生徒の皆さんが社会人になっている、今から十数年後の社会は、現在の仕事のおよそ半分が人工知能などによって、自動化されていると言われています。そのような社会に必要な力は、単に知識や技能を暗記し再生する力ではありません。一人で筋道を立てて考え、周りの人にわかりやすく説明し、新しいアイデアを加えながら周りの人と協力してよりよいものを創り出せる、そのような力が必要なのです。そのため本校では、個人やグループで主体的・対話的に思考を深める協同学習を取り入れた授業やコミュニケーション・トレーニングを進めています。生徒の皆さんも自分を成長させるために、積極的に授業に参加し学びを深めてもらいたいと思います。

次に、「善」とは、「人として善くあれ」ということを表しています。春休みに、私が学校を出ようとしていると、部活帰りの二人の生徒と玄関で一緒になりました。私がしゃがみ込んで靴紐を結んでいると、その二人は結び終わるまで玄関の扉を押さえて待っててくれました。何気ないことですが、たいへん嬉しく温かい気持ちになりました。相手を思いやることやもてなしは人工知能が苦手としていることです。人間の方が優れているこのような感性の部分を、行事や部活動などの学校生活を通して磨いてもらいたいと思います。

最後の「美」とは、「美の追究、美に感動」することです。明るく爽やかなあいさつや相手を思いやることばは、人間関係を良好にします。往くことばが美しければ、返ってくることば

も美しいものです。また、何か一つのことに打ち込む姿や姿勢は、人の心を打つ美しいものです。4月2日の読売新聞に、武道場脇にある「心の花壇」が紹介されました。今は色とりどりのパンジーが美しく咲き、「心」という字を鮮やかに浮かび上がらせています。日頃の生活の中で、美を追究し、美しいものに感動できる感性を磨きましょう。



5階からみた「心の花壇」



## 本校職員の紹介

1年生202名、2年生239名、3年生261名、

全校生702名で、平成29年度の荒牧中学校はスタートしました。本校職員を紹介します。

校長	難波重之	教頭	森本一登	養護教諭	大村由布子
事務	今尾健二	事務	和氣ひろみ	技能員	原 康浩
事務補助	多田美由起	特支教育支援員	平良麻優	読書指導員	高石真紀
主幹教諭マネ	船引洋志	ALT	ピーター・コールマン	スクールソーシャルワーカー	池田修一
スクールカウンセラー	福島美由紀				

1年職員			2年職員			3年職員		
学年主任	二宮啓二	国語	学年主任	秋田太一	保体	学年主任	三木陽一	社会
1組担任	安達俊仁	理科	1組担任	宮田桃果	保体	1組担任	仲野 仁	保体
2組担任	喜久田尚也	英語	2組担任	池田拓朗	英語	2組担任	柳田千里	理科
3組担任	石丸佳子	数学	3組担任	勝木晃平	英語	3組担任	樋ノ口陽介	社会
4組担任	米倉正朗	数学	4組担任	相馬康晴	理科	4組担任	高坂真美	数学
5組担任	中町康太	保体	5組担任	横尾由香	国語	5組担任	村上 裕	国語
特別支援学級	岡田みどり	保体	6組担任	谷本浩一	数学	6組担任	横畠裕一	英語
教務	村田文生	数学	特別支援学級	山根 郁	音楽	7組担任	宇宿友教	理科
学年付	渡辺祥子	社会	生徒指導	秋山宏之	社会	特別支援学級	谷岡貞一	理科
学年付	児玉修也	技術	学年付	松岡史雄	国語	進路指導	相馬竜介	英語
学年付	湯川英子	英語	学年付	古久保かおり	音楽	不登校	高木 匡	数学
						学年付	兼山美由紀	国語
						学年付	江上里香	美術

**自信と誇りを持てる学校を創ろう!!**